

成長する杉並

実績を土台に、停滞した4年を前へ。
いまの課題を解決し、杉並を成長のステージに進めます。

1 いま困っている課題を すぐ動かす

2 100年先も 誇れる杉並へ

- 本格的少子化対策スタート
- 実効性ある物価高対策
- 全国ワースト1の学童待機児を2年で解消
- 浜田山駅南口の早期開設
- 人生百年時代の高齢者福祉

- 親亡き後の障害者支援
- 道路整備・治水事業の推進
- 区役所窓口・各種申請のデジタル化



- ### 少子化対策
- 出産一時金の大幅増額(20代100万円・全世代第2子以降100万円)
 - 20代出産女性の30代以降の正規雇用復帰支援

- ### 子育て教育
- 誰でも通園制度の利用拡大
 - 障がい児保育の拡充
 - 小児医療・心のケア強化

- いじめ対策、教育環境の改善強化
- インクルーシブ保育の支援
- 産前産後ケアの拡充

- ### まちづくり防災
- 阿佐ヶ谷駅北東地区計画(杉一小跡地は隣接地と一体で構想し高層化を抑制)
 - 荻窪北口まちづくりの推進
 - 西武線立体化と連動した駅前整備

- 幹線道路整備、治水対策の推進
- 中央道高井戸インター開通促進
- 木密対策、狭あい道路拡幅

- ### 産業文化スポーツ
- 若い世代の起業・スタートアップ支援
 - シャッター商店改装助成

- ### 福祉安心
- 杉並介護・福祉教育機関の創設、介護従事者支援強化
 - 特養待機者実質ゼロの継続
 - ケア24の相談機能の強化

- 親亡き後の障がい者支援
- 年金だけで生活が難しい高齢者就労支援
- 高齢者等の買い物や医療のための交通確保
- デジタルを活用した単身高齢者の見守り

- アニメを通じた国際交流の促進
- 故谷川俊太郎氏記念施設整備
- 都市型スポーツの拠点整備
- 都市農業を活かしたまちづくり

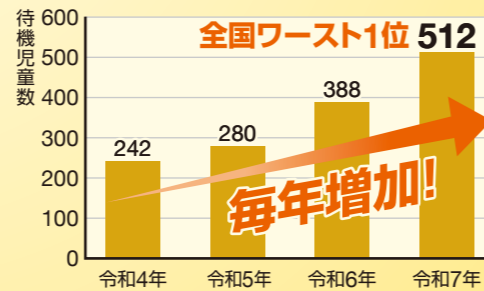
「田中区政」の実績と停滞の「岸本区政」

田中区政の12年間で杉並区は「選ばれる街」へと大きく成長しました。しかしこの4年間、岸本区政は「対話」を掲げるのみで、福祉、防災、まちづくりなど区の重要課題は後回しにされています。この停滞を打破し、杉並区を再び成長軌道へ。

	田中区政	岸本区政
まちづくり	○ 阿佐ヶ谷駅北東地区計画の推進 ○ 方南町国家公務員宿舎跡地を住宅として整備	× 京王井の頭線浜田山駅南口開設をストップ
子育て教育文化福祉	○ 保育園待機児解消、以後待機児ゼロに ○ 全小中学校にエアコン設置 ○ 特養 約1100床増設 切迫した要介護度3以上待機者解消	× 学童クラブ待機児童512名 全国ワースト1位(子ども家庭庁調査 令和7年) × 富士学園を売却、移動教室を旅行業者に丸投げ委託
安全防災	○ 区内建築物耐震化率の向上 ○ 狭あい道路拡幅事業の推進 ○ 下高井戸東電グランド跡地を公園・調整池・スポーツ施設に	× 平成5年9月の集中豪雨で約1600棟が浸水被害を受けた善福寺川の地下調節池の工事について、東京都に着工延期を求める要望書を提出 × 水害対策事実上ストップ状態

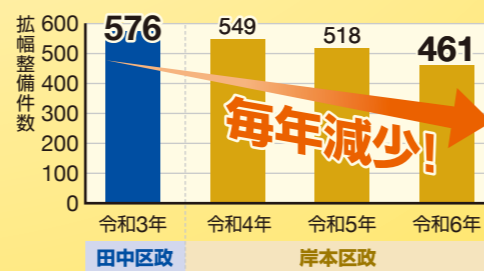
学童クラブ待機児童数(岸本区政)

※子ども家庭庁調査



隣接する区の待機児童数 練馬区:51 中野区:0

狭あい道路整備事業件数



前杉並区長

田中良 サポーターズ通信 Vol.17

緊急提言

本格的少子化対策スタート!!

区独自! 出産一時金

100万円

20代の母親:第一子以降
全世代の母親:第二子以降

田中良

前杉並区長プロフィール

昭和35年(1960年)・杉並区生まれ、杉並区育ち。杉並ひまわり幼稚園～桃五小～獨協中・高～明治大学政経学部卒。テレビ東京入社後、平成2年 衆院選に徒手空拳で出馬、落選。平成3年 杉並区議選に最年少トップ当選。平成5年 東京都議選に当選、以後連続5期当選。平成21年 東京都議会議員就任。平成22年 杉並区長に当選、以降3選。令和4年 杉並区長選187票差で惜敗。令和5年 著書「公文書に載らない東京都政と杉並区政」刊行。自治体にまつわる様々な問題についてマスコミ等で発信中。

杉並の勇気

区政の実績(一部抜粋)

- 1 保育施設の整備…5年連続待機児童ゼロ!
- 2 区立小・中学校全校にエアコン設置
- 3 3.11被災した南相馬市支援の為、自治体スクラム支援会議を結成
- 4 コロナ禍で全国初! 病院への直接支援で100床確保
- 5 河北総合病院・杉一小の移転改築計画推進
- 6 旧・近衛文麿邸「荻外荘公園」の復元・整備
- 7 農福連携「すぎのご農園」の開園、都市農地の振興

杉並を日本のモデルに!

「子育て・福祉・まちづくり」

杉並を日本の先進モデルに――

将来世代のためブレずに信念を貫き、結果を出してきた田中区政の「これまで」「これから」の施策の一部です。ぜひ、みなさまの声をお聞かせください。



もっと快適に、 もっと安全に

やり ます! 中央線沿線のまちづくり

- 高円寺**
- 阿波おどりや古着ファッションなどの若者文化のまち高円寺のカルチャーを全国に発信。
 - 中野からのアクセスの向上に向け、都市計画道路補助221号線を整備。

- 阿佐ヶ谷**
- ホール、ギャラリー、スタートアップオフィスなどの機能を取り入れ、文化のまちを発信。
 - 杉一小跡地は隣接地と一体でまちづくりを。
 - 東京都、国と連携して区役所、警察署、都税事務所、税務署等を再編して行政サービスの利便性を向上。
 - 都市計画道路133号線の延伸で交通アクセスの向上。

- 荻窪**
- 現在始まった荻窪北口まちづくりを契機に杉並の中心地にふさわしいランドデザインを描く。

- 旧若杉小跡地**: 災害時の物資搬出入を想定した道路整備と一体で防災公園、学童保育などの子育て機能の強化、若者世代を支援する拠点へ。
- 歴史と文化のまちの発信**: 荻外荘、大田黒公園、角川庭園に加え、故谷川俊太郎記念施設を整備し歴史と文学のまちを広く発信。

やり ます! 西武新宿線沿線のまちづくり

- 連続立体化事業と運動した駅前整備の推進**: 東京都、西武鉄道と連携して西武新宿線の駅前整備を推進し、地域活性化を推進。
- 旧杉並中継所跡地の活用**: 都市型スポーツと災害対策の新しい施設として整備。
- 新しい都市農業の展開**: 地産地消の推進、農の学校、生産緑地の活動支援など都市農業を支援。



田中良と描く 未来の杉並マップ

やり ます! 京王井の頭線沿線のまちづくり

- 浜田山駅南口の即時開設**: 地権者が南口のビルを整備しているにもかかわらず、4年近く放置してきた現区政のやり方を改め、即時開設。
- 中央道高井戸インターの開通促進**: 中央道高井戸インターの開通を促進し、移転後の旧富士見ヶ丘小学校の施設活用を地元とともに検討。富士見ヶ丘小の移転改築が終わった今、中央道の入り口開通の条件は整いました。

やり ます! 区内全域のまちづくり

- 水害対策**: ゲリラ豪雨対策の治水事業を東京都と連携して着実に推進。
- 防災対策**: 狭あい道路拡幅事業、電柱の地下化、インフラ老朽化対策。
- 交通対策**: 南北交通、バスの減便対策、オンデマンド交通、ベビーカーや車いすで安心して移動できるまちづくり。

今も花開く 田中良の施策

行政は長期的視点での取り組みが必要です。
**田中良が取り組んできた
施策のひとつひとつが
花開いてきています。**
そのいくつかをご紹介します。



やり ました! 東電グランド活用で 公園・調整池・ スポーツ施設を整備

10数年を経て今年度オープン! 東日本大震災後、東京電力所有のグランドを自ら東京都に働きかけ、公園・スポーツ施設・水害対策の調整池として整備することに。下高井戸おおぞら公園はオープン済。地下に調整池を設け、その上をスポーツ施設とする工事は今年度中に完成予定。

やり ました! 区立ドッグラン広場

区長時代に地元都議との連携で東京都に働きかけ、都立和田堀公園内に区立のドッグランを開園。

やり ました! 農福連携農園 すぎのご農園

杉並らしい農業と福祉の連携、地産地消の推進。障がい者のいきがい創出や就労支援のために区長時代に開園した農園は、23区初の取り組みとして内外から注目されています。

やり ました! 台湾との交流 中学生野球・阿波おどり

平成23年に「野球を通して中学生の国際交流を」という軟式野球連盟の要望を受けて中学生野球親善交流を推進。平成29年から高円寺阿波おどりの台湾公演も実施。

やり ました! 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりで 河北総合病院移転改築

全国的に病院の閉鎖が相次ぐ中で、リーダーシップを発揮して取り組み、老朽化した河北総合病院が昨年6月に移転改築。機能を充実し地域医療基盤が向上。

やり ました! 荻外荘開園

令和6年11月開園した荻外荘には多くの方が訪れています。これは田中良が自ら長年にわたって近衛家をはじめ関係者と協議を行ってきた成果です。

やり ました! 方南町国家公務員 宿舎跡地の住宅整備

国の公務員宿舎廃止方針で廃屋化していた用地を自ら国と交渉して良好な住宅として整備。